



# 大志望峰

## 最高の花を咲かせた炎翼祭

いつもより長い夏休みが終わり、台風に悩まされた8月の後半から、学園祭特別時間割が実施され、本格的に炎翼祭の取り組みがスタートしました。鈴木育美生徒会長、生徒会本部役員のリダーシップのもと、約2週間にもおよぶ、熱く、厳しい取り組みを通して、とてもいい学びになったのではないのでしょうか。そして、文化の部、体育の部を中心に各部門を通して、思い出に残る最高の2日間を送ることができました。特に、文化の部では日頃から一生懸命に取り組んでいる文化部、全校合唱と并論、暗唱などの学習成果の発表では塩山中の文化の質の高さを見せてくれました。美術部の趣向を凝らした絵、科学技術部の化学実験、家庭部のファッションショー、吹奏楽部のコンクール曲披露や楽しいポップス演奏まで、どの部も真面目に地道に一生懸命に活動している様子がありました。学年・クラス・全校合唱については、短い取り組みの中でよく頑張って自分たちの曲を披露していたことに多くの聴衆が感銘を受けたのではないのでしょうか。必死に頑張っている姿、みんなと同じ目標に向かって努力している姿は美しいし、カッコいいと改めてみなさんから教えてもらいました。

今年も、審査員で来ていただいた塩山南小の竹川美和先生からお褒めの言葉と大切なアドバイスをいただきました。これからの合唱活動等に生かしていただきたいと思います。2日目の体育の部では、本気で全力で、そしてベストを尽くして頑張った塩中生の姿がありました。取り組みが始まってからもなかなかエンジンがかからず、グラウンドには先生方や3年生リーダーの熱いアドバイスの声が響き渡り、クラス、学年種目から伝統の創作応援、十字行進と取り組みが厳しい状況でしたが、何とか本番を迎えることができました。当日はどのクラスも、最後まであきらめず、お互い熱い声援を送り、一生懸命頑張っていました。種目の中には、苦手な競技もあり、不安に感じていた生徒もいたと思いますが、仲間の支えや励ましでみんながチャレンジする気持ちで取り組めたこと、そのことが自分自身とクラス、学年、全校を一步前進させることができたのだと思います。2日間の炎翼祭、そして今まで頑張って取り組んできた日々を通して、生徒たちは、改めて自分のクラスが一番、学年が一番、塩中が一番という気持ちをさらに強くし、全員が最高の花を咲かせました。そしてその力が、これから経験する教達検、新人大会、強歩大会など様々な行事で自分を支える力となって発揮されるでしょう。

～ 保護者、地域の皆様へ ～ 今年の炎翼祭は、来年度の統合を控えた塩山中学校として節目となる学園祭でした。最高の思い出にしようと生徒会本部や3年生を始め全校の生徒が、思いきり仲間とともに、一致団結して頑張りました。生徒たちのために温かく見守っていただき感謝いたします。ご協力とご支援をいただき本当にありがとうございました。



## 新人戦に向かってベストを尽くそう！

いよいよ10月9日、12日に東山梨新人体育大会が開催されます。先輩からバトンを受け、1、2年生が一体となってこれまで精一杯頑張ってきたと思います。3年生が引退したので人数も少なくなりましたが、張り切って前向きに取り組んでいる姿がありました(サッカー部は勝沼中と男子バスケ部は塩山北中と合同チーム)。あいさつや返事、また一生懸命練習することなど、新チームになって先輩たちを超えようと頑張っています。新人大会は、最初の公式大会なので不安もあるとは思いますが、チームの仲間とともに全力で思い切りチャレンジしてください。目標に向かって、自分たちの力が少しでも出し切れるようにベストを尽くしましょう。